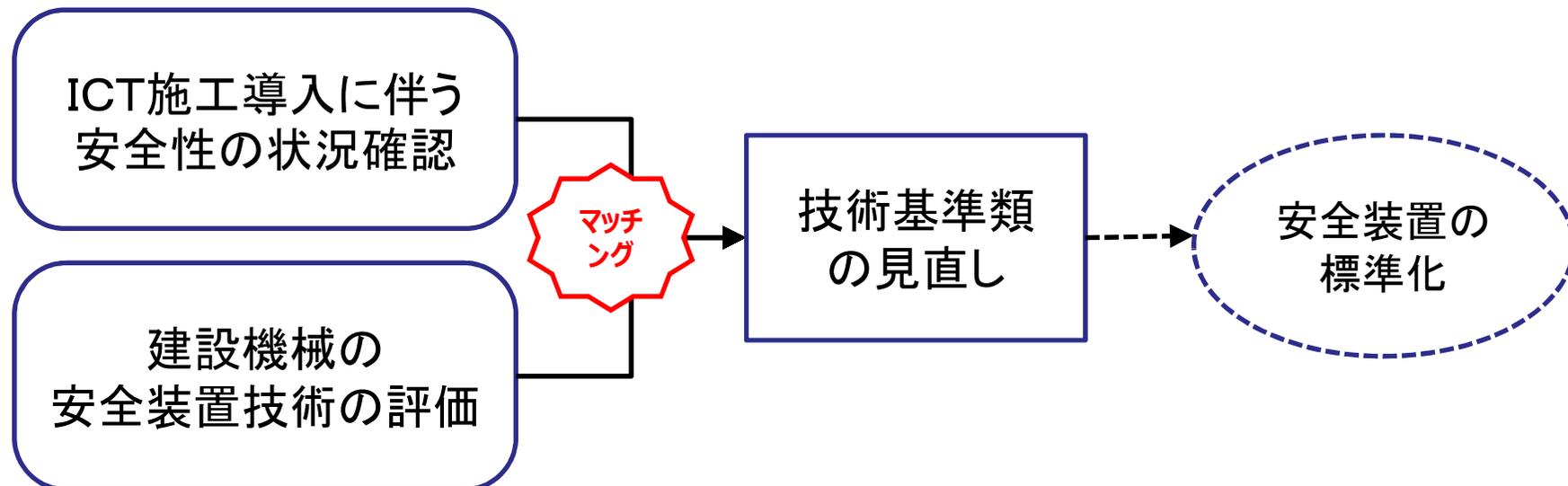


安全対策関係の進め方

■2019(令和元)年度の検討内容(案)

- ① ICT施工導入に伴う安全性の状況確認
→ 建設現場にICTを導入することによる現場安全性の動向を確認。
施工現場における安全面の効果や課題を抽出。
- ② 建設機械の安全装置技術の評価
→ 「建設機械の安全装置類」に関する要求水準を整理。
現場実証を行う等、技術検証を行ったうえで技術比較を実施。
- ③ 技術基準類の見直し検討
→ 「建設機械に関する技術指針」等の見直しを検討



【目的】

建設工事の施工にあたり望ましい建設機械について定め、これを使用することによって建設工事の効率化、省力化、高品質化、安全性の向上及び作業環境の改善を促進し、もって建設工事の円滑な実施を図ること。

- 平成3年10月8日付け建設省経機発第247号大臣官房技術審議官より各地方建設局長あて
- 最終改正 平成10年3月31日付け 建設省経機発第37号

【各論】

① 建設機械の操作方式

バックホウ、移動式クレーン、ブルドーザ

② 建設機械の排出ガス

バックホウ、トラクタショベル、大型ブレーカ、コンクリート吹付機、ドリルジャンボ、ダンプトラック、トラックミキサ、ブルドーザ、発動発電機、空気圧縮機、油圧ユニット、ローラ、ホイールクレーン